

大会プログラム
1日目 (11月4日・土)

	受付	シンポジウム会場					口頭発表会場		ポスター会場		クローク	休憩室	
	AS357	AC330	AS251	AS252	AS257	AC231	AC232	AS361	AS362	AS358	AS368	AC341	AS365
9:30	受付開始 (9時30分から)	(10:00-12:00)										受付開始 (9時30分から)	
10:00		招待講演	会員企画シンポジウム1	会員企画シンポジウム2	会員企画シンポジウム3	会員企画シンポジウム4							
10:30		ライフストーリーから人生と知を創造するー解釈学及び微視現象学の観点から	ICT教材とハイブリッドになった教師の志向性を問う	土地の力を描き出すー映画を使ったビジュアル・エスノグラフィーー	「病棟文化が変わる」ー「対話の仕方と役割認識」の変化で共支援的なナラティブ・コミュニティに変容した緩和ケア病棟の物語ー	子育て中の母親インプロバイザー(即興演者)の上演参加ー「ザ・ペビテルテスト」上演をめぐる語りから考えるー							
11:00													
11:30		講演者: Hervé Breton 司会: 森岡正芳	呉文慧, 馬場大樹, 高村直樹, 江草達平	村本邦子, 河野純子, 呉宣晃, 大塚涼子, 張赤瑾	田代順, 大西郁子	藤井玲子, 園部友里恵, 豊田夏実, 下村理家, 中込裕美, 江戸川カエル							
12:00		(12:00-13:00) 責任在席時間 (優秀賞選考セッション, 一般セッション)											
12:30													
13:00		(13:30-15:30)											
13:30		大会企画シンポジウム1	会員企画シンポジウム5	会員企画シンポジウム6	会員企画シンポジウム7	会員企画シンポジウム8		口頭発表1 (優秀賞選考セッション)	口頭発表1 サテライト (優秀賞選考セッション)				
14:00		制作論的転回? 同じ川は二度入れない, 同じモノは二度作れない	AIが質的研究をどう変えていくか	TEAIにジルベール・シモンドンの體体化・展縮を取り入れる試みー右上がりTEMIに対しての分析例を用いてー	実践者からみた「こどもの居場所」の課題ー必要不可欠なヒト・モノ・コトについて考える	不思議な経験に遭遇したらどうしたらよいか?ー例外的事象から事例研究へー		0-1~0-5	0-1~0-5				
14:30													
15:00		南博文, 野中哲士, 澤野美智子, 飯嶋秀治	藤海升, 中田友貴, 大橋美永, 能智正博, 尾見康博	福山未智, サトウタツヤ, 木戸彩恵, 小澤伊久美, 阪下ちづる, 田垣正晋	松嶋秀明, 保坂裕子, 上野純子, 川崎就子, 鈴木晶子	渡辺恒夫, 岩崎美香, 大門正幸, 森岡正芳							
15:30		(16:00-18:00)											
16:00		大会企画シンポジウム2	研究交流委員会大会企画	会員企画シンポジウム9	会員企画シンポジウム10	会員企画シンポジウム11	会員企画シンポジウム12	口頭発表2 (優秀賞選考セッション)	口頭発表2 サテライト (優秀賞選考セッション)				
16:30		現象学的質的研究法(PQR)の可能性	他者の体験を「想起」するー場所、コミュニティ、継承ー	質的研究法を学びほぐすー障害児・者教育の視座からー	質的研究、またはインタビューが研究協力者に与える、正/負の影響	身体を用いた社会的行為の組み立てられ方の考察ー介護・超音波検査・揺動行為と身体ー	子育てという活動に再び挑むー社会文化的視点からー	0-6~0-10	0-6~0-10				
17:00													
17:30		村上靖彦, Hervé Breton, 森岡正芳	安斎聡子, サトウアヤコ, 伊藤哲司, 森直久, 佐藤由紀, 杉山高志	生田邦敏, 呉文慧, 橋見友輔, 横山草介	伊東美智子, 宮下太陽, 渡邊成也, 市川翠子, ハツ塚一郎	藤田崇美子, 松浦智恵美, 大和田浩美, 加戸友佳子, 櫻田美雄, 岡田弘光	土倉英志, 太田礼穂, 渡辺涼子						
18:00	受付終了 (18時まで)											受付終了 (18時15分まで)	
18:30	懇親会												

大会プログラム

2日目 (11月5日・日)

	受付	シンポジウム会場				口頭発表会場				ポスター会場		クローク	休憩室	
	AS357	C273	C373	AC338	AC348	AS361	AS362	AS363	AS364	AS358	AS368	AC341	AS365	
9:00	受付開始 (9時から)												受付開始 (9時から)	
9:30		(9:30-11:30)												
10:00		質的心理学フォーラム編集 委員会企画シンポジウム	会員企画シンポジウム13	会員企画シンポジウム14	会員企画シンポジウム15	口頭発表3 (優秀賞選考セッション)	口頭発表3 サテライト (優秀賞選考セッション)	口頭発表4 (優秀賞選考セッション)	口頭発表4 サテライト (優秀賞選考セッション)					
10:30		「現場」を問い直す	孤立からつながりへ—エー ジェンシーをめぐる対話—	歌、コラージュ、ジャーナ リングを媒介とした主体回 復へのナラティブ・アプ ローチの検討	動いている世界とともにど のように研究するか— ドゥルーズの生成変化の哲 学をもとに—	0-11~0-15	0-11~0-15	0-16~0-21	0-16~0-21					
11:00		松原亮、土元哲平、鈴木謙己、吉川博 理、千田真緒、河村裕樹、神崎真実	青山征彦、木下寛子、保坂裕子、浜田青 美男	松本佳久子、宮本悠起子、鍋島宏之、谷 本拓郎	梶尾友輔、辰巳一輝、得能想平、石黒広 昭									
11:30		(11:45-12:45)												
12:00		総会												
12:30		(13:00-15:00)												
13:00		編集委員会企画 シンポジウム	会員企画シンポジウム16	会員企画シンポジウム17	口頭発表5	口頭発表5 サテライト	口頭発表6	口頭発表6 サテライト						
13:30		「変化」をとらえる質的研 究	ヤーン・ヴァルシナーの記 号論的文化心理学と質的研 究法—未来へ向けた可能性 を考える—	詩的リアリティとビジュア ル・ナラティブ	0-22~0-25	0-22~0-25	0-26~0-30	0-26~0-30						
14:00														
14:30		大川聡子、北出慶子、小路浩子、小林智 之、小林聡子、能智正博	清田明輔、サトウタツヤ、宮下太陽、上 川多恵子、土元哲平、木戸彰彦、小松幸 彦	横山軍介、家島明彦、やまだようこ、ふ くだべる、南博文、高田明										
15:00		(15:15-17:15)												
15:30	受付終了 (15時30分)	常任理事会主催 国際シンポジウム	会員企画シンポジウム18	会員企画シンポジウム19	会員企画シンポジウム20									
16:00		土着心理学の発想とその展 開	行動の時間的特徴とその表 現—静止面による表現をめ ぐって—	観察と介入の二分法を超え て—文脈的行動科学と質的 心理学の対話—	言説分析と社会的課題—三 人連句読みつなぎ(2)									
16:30														
17:00		伊藤智司、ロジェリアベファ、ヴァク ラヴリンコヴ、鎌倉謙、村本邦子	阿部康二、高梨克也、細馬宏通	瀬平剛アントン、本田陽彦、瀬平剛 キャサリン、植田嘉好子	ハッ塚一郎、川野健治、岡部大祐									
17:30													受付終了 (17時30分)	

ポスターセッション1日目 ※筆頭発表者の氏名のみ記載

(優秀賞選考セッション) AS358

No.	氏名	タイトル
P-1	勝谷紀子	障害の不在から共有へ：書くことによる障害の外在化への過程のオートエスノグラフィ
P-2	梅本知子	自己修復に着目した会話力の解明：会話分析を通して看護教育への応用に向けた手がかりを探る
P-3	新井素子	レトリックから見た自傷行為－自己切創または皮膚むしりの経験者の語りの分析から
P-4	小木貢	持続可能なまちづくりを意識した「共同作業」による向社会的感情（メンバリズム）に関する研究
P-5	杉山陽香	メディアを介した自殺情報への接触経験の実態調査
P-6	尾石智美	働く母親たちはなぜインターネット・コミュニティにいるのか
P-7	大豆生田芽吹	保育園4歳児クラスにおける保育者の共同注視としての「見守る」行為
P-8	建部智美	地域在住高齢者のAdvance Care Planningに関わる要因の検討
P-9	門倉拓郎	東京レインボープライドに継続的に参与した青年達の経験－性的マイノリティのイベントに展望を持つまでの過程
P-10	廣瀬太介	ひきこもり者の対話的自己の検討－社会と再接続する分岐点に焦点を当てて－
P-11	濱名潔	オートエスノグラフィーを用いた博士論文の作成と指導に関する対話的オートエスノグラフィー
P-12	曾佳荷	中国の「難（ノウ）」を例として郷土芸能の後継者についての検討
P-13	堀江貴久子	体育会アスリートがキャリア決定に至るプロセスの検討－複線径路等至性モデリングを用いて－
P-14	岩下夏岐	タイ中部における高齢者リハビリテーションの人類学的研究
P-15	瀬々彩香	各アタッチメントスタイルの対象者が築いた重要他者との関係性と関係性を経て形作られる幸福感の様相

(優秀賞選考セッション) AS368

No.	氏名	タイトル
P-16	緒方亜文	知的障害を伴うASD児の「エコラリア」に教師はどのように対処するか：支援場面の相互行為分析
P-17	中山優美	ひとり親家庭の父親が支援に繋がるプロセス-父親の援助要請に注目して-
P-18	笠原千秋	自己の可変性信念に関する自由記述のペンタド分析
P-19	齋藤優希	性格の変容を促す要因の検討
P-20	石渡美穂子	身体的（不）協応関係における、人々と場の生成性の検討－浦河べてるの家でのオートエスノグラフィを通して－
P-21	鈴木美枝子	東日本大震災時、放射能による制限と保育者の葛藤のプロセス

(一般セッション)AS368

No.	氏名	タイトル
P-22	村山陽	高齢未婚女性における自己解決の背景要因：テーマティック・アナリシスによる分析
P-23	李フシン	住民主体の震災復興とは何か？茨城県大洗町を事例に
P-24	河本尋子	災害という文脈における地域への愛着に関する一考察
P-25	市川章子	子どもの育ちを伝えるための翻訳－日本語母語話者教師と日本語非母語話者保護者を「むすぶ」もの語り－
P-26	松浦李恵	イラストレーターの制作場面からみるSNSにおける評判獲得とオリジナリティに関する考察
P-27	仲本美央	地域の図書館以外の公共施設における絵本環境の社会的役割とは何か－公民館および児童館などの職員へのインタビュー調査から考える－
P-28	鈴木聡志	職業に呼ばれる経験のバリエーション
P-29	石井俊行	看護系大学3年生の「患者に寄り添う看護」の概念化に関する考察
P-30	木下寛子	表現されたものが生き延びる場－小学校の日々への参与から問う学校・校区理解と表現

ポスターセッション2日目 ※筆頭発表者の氏名のみ記載

(一般セッション) AS358

No.	氏名	タイトル
P-31	森川佳恵	被災した女性が語るコミュニティとレジリエンスからの考察
P-32	荒木奈美	空気を読みすぎる「生きづらさ」とビジュアル・オートエスノグラフィー
P-33	香曾我部琢	視覚素材を用いた仮想実験によるIn-Depth Interview—山脈的自己モデルによる分析
P-34	岡田美笛	インクルーシブ保育における集団性とは
P-35	竹内一真	和菓子の復活から捉えるものの物語的自己同一性：失われた味を巡る記憶と記録を通じた修復的实践
P-36	松原未季	幼稚園のある5歳児の「つまずき」場面における対処とそれに対する保育者の援助：5クラスのクラス替えが実施される園での調査から
P-37	岸野麻衣	「話す」「聞く」はどのように構成されるのか：幼小接続期の話し合い場面の分析
P-38	稲嶺美祈	一人職場の対人援助職をエンパワーする力—産業保健師と養護教諭へのインタビューから—
P-39	松熊亮	WEBアンケートによる成人期発達障害者の親ときょうだいのやりとりの実態把握の試み
P-40	大橋靖史	将来の時間的展望と主体的選択が生成されるプロセスに関する研究 — 占い師と相談者のやり取りの分析 —
P-41	稲垣綾子	夫婦のアタッチメントニーズに関する共同生成ナラティブと社会文化的ディスコース
P-42	藤井真樹	語り合いから探る子育て中の母親の「変わり目」：「変わる」ことをめぐる体験とは
P-43	福岡寿美子	社会共創プログラムの活動における国際共修による学習者の心理
P-44	岸磨貴子	アートベース・リサーチによるゼミ教育の可能性：演劇手法を用いた異文化体験の探究を通して
P-45	上村晶	子どもとの関係構築プロセスの可視化による保育者の意識変容とは(4) —3歳児との関係構築の実相に着目して—

(一般セッション) AS368

No.	氏名	タイトル
P-46	鯉坂誠之	発達障害の親の会に対するペアレント・トレーニングの効果
P-47	田中寿夫	初任者スクールカウンセラーのリアリティショックを通じた職業的アイデンティティの発達：QUAMを援用した1事例の分析
P-48	小池星多	超小型人工衛星開発におけるコミュニティの質的研究(1)
P-49	福山未智	Auto-TEMの表現に写真を用いる提案-コスプレをフィールドに-
P-50	長内優樹	Digital Transformation (DX) へのある旅行業者管理部門従業員の認識—ストレス予防の観点からの半構造化面接による研究—
P-51	中澤真理恵	里親子関係の構築と家族アイデンティティ形成プロセス—真実告知を経験した里母の語りに着目して—
P-52	沖潮満里子	障害者のきょうだいによる新たな親理解—成人期きょうだいの語り合いから
P-53	乾明紀	複線径路等至性アプローチ (TEA) と関係学との理論的接合に関する研究
P-54	黒住早紀子	支援者と支援対象児の相互理解である関係的理解をたよりにした支援のプロセス—小学校通常学級で複数の支援者が関わる支援事例から
P-55	曾山いつみ	離婚を経験する父が必要とするサポートとは
P-56	朝比奈茉穂	保育園の0歳児クラスにおける歌やリズムの果たす機能
P-57	勝見吉彰	ピアッシング行為をめぐる体験内容に関する探索的研究
P-58	安達仁美	ESDに取り組む教師のワークとライフ
P-59	司城紀代美	子どもの「こだわり」が緩むとき—幼稚園での観察事例から—
P-60	中田友貴	大規模言語モデルによる経産婦インタビューデータの文字起こし精度の検討
P-61	三品拓人	子育て環境としての日本・アジアのイメージ—育児期女性の語りから

口頭発表1日目 ※筆頭発表者の氏名のみ記載

口頭発表 1

(優秀賞選考セッション1) AS361・AS362 (13:30-15:30)

No.	氏名	タイトル
O-1	梶原佐保	重度障害児・者をコミュニケーション主体として構築する過程 —援助者のライフストーリーに基づく検討—
O-2	竹田琢	大学生のリフレクション活動はどのように達成されるのか—相互行為上の課題に着目して
O-3	本岡美保子	乳児保育においてわらべうたによって生じる身体的同調—保育者であった筆者の経験をもとに—
O-4	加藤誠也	変容への抵抗感や拒否感はどのように縮減しうるのか?—変容的学習過程進捗の制動・停滞情態から脱する足場架け (scaffoldings)
O-5	小山多三代	複線径路等至性アプローチ (TEA) における分岐点概念の再考

口頭発表 2

(優秀賞選考セッション2) AS361・AS362 (16:00-18:00)

No.	氏名	タイトル
O-6	五十嵐篤	グローバル人材へのキャリア発達プロセス—日本人9名の統合TEM (複線径路等至性モデリング) による分析と考察—
O-7	杉浦彰子	「川の記憶」の語りを伝承する (3)—災害・地域レジリエンス向上とまちづくりを目指した「語りマップ」の活用展開—
O-8	沖津奈緒	〈わが子の不登校〉を経験した母親のパーソナルリカバリー体験
O-9	谷晴加	死別を経験した人を対象としたセルフコンパッション(自己に対する思いやり)に焦点を当てたオンライン心理療法(COMPACT試験)の経験に関する質的調査—テーマティックアナリシス法による分析—
O-10	吉田弘美	日本文化を生きる中高年女性の語り —解釈的現象学的分析における主体的人生の探索がもたらすもの—

口頭発表2日目 ※筆頭発表者の氏名のみ記載

口頭発表 3

(優秀賞選考セッション3) AS361・AS362(9:30-11:30)

No.	氏名	タイトル
O-11	田崎みどり	臨床ナラティブアプローチから捉えた「適度な差異」の意義 — 認知症を有するAさんとの会話の実践からの検討 —
O-12	駒澤真由美	ライフストーリーからフィールドワークへ、そしてオートエスノグラフィーへ
O-13	森永桃子	聴き手に話して伝える行為としての〈朗読〉 — 話し手との表現過程の振り返りを通して —
O-14	渡会由貴	聴覚障害者は心理療法をどのように捉え、何を求めているのか — 心理療法を受けたくても受けられない状況に焦点を当てて —
O-15	町田奈緒士	発達障害傾向を有するトランスジェンダーの人々の体験世界 — 自己のあり方と他者関係の築き方に着目して

口頭発表 4

(優秀賞選考セッション4) AS363・AS364(9:30-11:30)

No.	氏名	タイトル
O-16	澤田雅斗	ナルコレプシーを生きること
O-17	清田顕子	第二言語での討論におけるトピック展開能力の発達とゼミコミュニティ：二年間にわたる縦断的事例研究
O-18	早崎綾	外国語教育研究における研究者の感情と再帰性の役割の考察: Auto-TEMを用いて
O-19	新田莉生	ワクワクする人生を生き、自分らしく未来をつくる生き方をつかむまでのプロセス
O-20	大江輪	場の秩序の状態遷移の契機としての「ゆらぎ」の実証的研究 — ストリートダンスの即興活動に着目して —
O-21	津田容子	地域若者サポートステーションに集う「若者」が抱える困難とニーズ — 利用者を対象とした対話型ワークショップの試みから —

口頭発表 5

(一般セッション1) AS361・AS362(13:00-15:00)

No.	氏名	タイトル
O-22	石盛真徳	ニュージーランド在住の日本人移住者のライフストーリー研究 (1) — 9名のライフストーリーに関する複線径路・等至性モデル(Trajectory Equifinality Model) による分析 —
O-23	園部友里恵	インタビュー調査にみる教員養成大学1年生の「教職不安」の様相
O-24	土倉英志	場にたいする信頼とは何か — その醸成過程に焦点をあてて
O-25	村井尚子	子どもが戦争文学とむきあう授業の現象学的記述

口頭発表 6

(一般セッション2) AS363・AS364(13:00-15:00)

No.	氏名	タイトル
O-26	金澤佑	Ipseityへの接近：外国語ライティング指導におけるディープ・アクティブラーニング教育実践としてのミニ・オートエスノグラフィー活動の可能性
O-27	嶋津百代	ビジュアル・ナラティブから迫る日本語教師のキャリア観 — 経験の組織化と語りの共同性の観点から —
O-28	小沼律子	「伏線回叙的リフレクション」で生み出される物語 — 小学校低学年の図画工作の記録行為から —
O-29	中井好男	公共的な私と物語的真実を追求するオートエスノグラフィー
O-30	鴨澤小織	海外で人格形成期を過ぎた女性の心理的再編成に関する研究：静かなる流出の視点から